



チャイルドの住む国

ザンビア



面積:	75.3 万 km ² (日本の約 2 倍)
人口:	1,190 万人 (2006 年: 世界銀行)
首都:	ルサカ
公用語:	英語 (公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、 トンガ語
通貨:	クワチャ
人口構成:	73 部族 (トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)
宗教:	8 割はキリスト教、その他伝統宗教 (出典: 外務省ホームページ)

ザンビアってどんな国？

< 地理・気候 >

ザンビアはアフリカ南部にある内陸国です。標高 1,000 ~ 1,350m の高地にあるため、気候は穏やかで湿度は低いです。ジンバブエとの国境には、世界 3 大滝であるビクトリア滝があります。季節は 3 つあり、5 ~ 8 月は寒い乾季、9 ~ 11 月は暑い乾季、12 ~ 4 月までが雨季です。ザンベジ渓谷とルアングワ渓谷では 10 月にとても暑くなり、雨季の間は湿気が多くなります。

< 歴史 >

1853 年探検家リビングストンが英国人として初めて訪れ、1911 年北ローデシアとして英国支配下に入ります。北ローデシアは、1953 年ローデシア・ニサヤランド連邦 (現ザンビア、ジンバブエ、マラウイ) 結成まで続きます。後にこの連邦は解体、1964 年 10 月 24 日英国連邦内共和国として独立しました。

< 教育事情 >

ザンビアの教育制度は小学校 (7 年義務教育)、中学校 (2 年)、高校 (3 年) となっています。7 年生修了時に試験があり、優秀な場合のみ中学校に進めます。中学修了時も同様です。小学校の就学率は 68%。中途退学率も高く、中学校の就学率は男子 25%、女子 21% とさらに低くなります。経済的な事情や親の教育への関心の低さにより、多くの子どもが進学できません。

< 政治 >

独立後、統一民族独立党による一党共和制を採っていましたが、1991 年複数政党制での大統領選挙により MMD (複数政党制民主主義運動) のチルバが当選。このスムーズな政権交代は、アフリカにおける民主化モデルとして評価されました。しかし再選を目指すチルバ大統領の強行姿勢は民主化に逆行するとして内外から非難を受けます。2002 年 1 月 MMD のムワナワサが大統領に当選、06 年 9 月には再選を果たしました。

< 経済 >

輸出収入の 6 割を銅・コバルトに依存する典型的なモノカルチャー経済ですが、農業の振興や産業の多角化、観光開発を中心とした経済構造改革に取り組み、銅依存型経済からの脱却を試みています。近年は好天により農産物の高い生産高を上げ、また銅の国際価格の上昇もあり経済は好調ですが、財政事情は厳しく緊縮財政を強いられています。

< 保健事情 >

ザンビアでは、HIV/エイズの蔓延が最も深刻な問題です。現在 5 人に 1 人が HIV に感染していると言われています。また不衛生な環境や安全な水の確保ができないために、マラリアや感染症、下痢などの病気にかかることが多いです。さらに人口の約 60% が栄養不良の状態にあり、病気にかかりやすくなっています。政府は保健サービスの拡充を性急に迫られています。

ザンビアの人々の暮らしを知ろう

< 家族 >

家族の形態は、部族毎に様々です。西部に住む農牧民ンゴニ族と南部に住むトンガ族は父権制です。これらの部族では所有している牛の数で貧富の度合いを測ります。女性が結婚すると、新郎は花嫁の父親に牛を贈らなければなりません。北部に住むベンバ族は母系社会です。一夫多妻制の部族もあります。一般的に家族の絆は強く、都市部では関係が希薄になりつつありますが、それでも親戚と連絡をこまめに取り合い、お互いに助け合っています。

< 食事 >

ザンビアの代表的な食事は「シマ」です。どろっとしたポリッジ(オートミールやシリアルを水や牛乳で煮た粥)に肉や鶏肉、魚、野菜、豆類で作ったソースに添えて食べます。かぼちゃやサツマイモ、キャッサバ、落花生は1年中出回ります。マンゴーやグアバなどの果物もよく食べます。南部や東部の牧畜を行う地域では、牛乳も大量に消費されます。しかし、このような地域でも肉は特別な時にしか食べられません。最も代表的な飲み物は「ムンコヨ」という、キビとトウモロコシ又はトウモロコシだけを発酵して作る家庭の清涼飲料です。アルコールの強い「セブンデイズ」という飲み物は、農村で作られ週末や祭日に飲まれます。

< 宗教 >

ザンビアはキリスト教国で、国民の80%がキリスト教徒です。その他にヒンドゥー教やイスラム教、その他の宗教を信仰している人もいます。

< 風習 >

ザンビアはたくさんの部族で構成されており、様々な風習や伝統文化が存在します。その中から、ひとつご紹介します。

ンゴニ族の「ンクワラ」:

西部州に住むンゴニ族は宗教的な感謝祭を2月に行います。祭りではンゴニ族の長が今年初めてとれた酒の利き酒をします。その後踊ったり、ビールを飲んで祝います。

部族によって習慣が異なるのは当然のことですが、全部族に共通したものもあります。それは、新生児に名前をつけるのに1ヶ月をかけるという習慣です。家族はどんな名前がふさわしいかを1ヶ月間考えます。名前は死亡した親類や家族の年長者にちなんで付けられる事が多いです。

< ある子ども的一天 >

ルスは12歳の女の子。母親は亡くなっており、父親と二人の姉と暮らしています。一家は父親が川で釣った魚を市場で売って得た収入で支えられています。母親が亡くなった後は、ルスと姉が家事を取り仕切っています。

朝は父親と姉に6時に起こされます。昨夜の夕飯の皿を洗い、家とその周りを掃除し、自分の顔や手足を洗ってから制服を着て学校へ行きます。朝ご飯は食べません。12時に学校が終わり、お腹を空かせて家に帰ります。食事は自分で用意します。夜6時になると父親のために風呂をたいたり、夕食の準備を姉とします。夕飯の後は急いで遊びにでかけ、8時には土間の上にアシで作ったマットを敷き、小さな毛布をかけて寝ます。

< データで見るザンビア >

	5歳未満児死亡率 (1,000人当たり)	改善された水源を利用する人の比率(%)	1人当たりのGNI* (米ドル)	1日1米ドル未満で暮らす人の比率(%)	小学校5年生の定着率(%)	成人識字率(%)	出生時の平均余命(年)
ザンビア	182	58	490	76	98	68	38
日本	4	100	38,980				82

出典: ユニセフ世界子供白書 2007 より

*注) GNI (Gross National Income)とは「国民総所得」という。1人あたりのGNIは、国民総所得を年央の人口で割って算出したもの。

ザンビアでのプランの活動

活動開始年： 1996 年

チャイルド数： 26,000 人(2007 年 6 月現在)

国統括事務所： ルサカ

活動地域： ()内は事務所開設年



#143 ザンビア(Zambia) (1996 年)

#177 チャディザ(Chadiza) (2000 年)

#194 チボンボ (Chibombo) (2001 年)

#830 マンサ (Mansa) (2005 年)



< プラン・ザンビアが取り組む課題 ~ エイズの猛威 ~ >

HIV/エイズの蔓延と、それに伴うエイズ孤児やストリート・チルドレン(様々な理由から路上で暮らす子どもたち)の増加が社会問題となっています。親や保護者をエイズで亡くした子どもたちは、ザンビアには 63 万人いると言われています(UNAIDS)。そのため孤児院や診療所、教育施設を含む孤児のためのサービスの整備は、社会的に大きな負担となっています。

これを受けてプラン・ザンビアは、エイズ孤児の支援を開始し、コミュニティ・レベルにおいてもエイズ問題への取り組みを更に強化しました。孤児に対する食糧、住居、衣服、教育、職業訓練や心理的なサポートを行うと共に、伝統的に孤児たちを世話する拡大家族(父母、祖父母、叔父叔母やいとこをも含む場合もある)への支援も行っています。これらの活動により、多くの未亡人、孤児そしてチャイルドたちは、経済的に大きな負担なくして必要な時に診療を受ける事ができ、不必要な死を招くことが少なくなりました。

ザンビアのチャイルドとの交流について

プランの活動地域では識字率が低く、手紙というものを書いたことがない子どもたちがほとんどです。子どもたちにとっては手紙を書くというのはとても難しいことです。子どもたちが手紙を書きやすいような話題作りをしてあげると良いでしょう。例えば、日本の子どもたちと同様に、アフリカの子どもたちはサッカーが大好きです。日本のサッカーについて教えてあげるのも良いでしょう。また、ザンビアはキリスト教国ですので、祝祭日もキリスト教に基づくものが多いです。クリスマスには素敵なクリスマスカードを送ってみてはいかがでしょうか。

基本的に、どんな話題でも結構です。皆さまのご興味、ご関心に合わせて、ご自由にお書き下さい。スポンサーからの手紙は、数行の簡単な挨拶だけでも彼らにとって大変嬉しく励みになります。どうぞ難しくお考えにならず、気軽に手紙をお送りください。

< お手紙に書くと喜ばれる話題 >

家族、毎日の生活など
仕事や趣味
日本の気候や自然
日本のお祭り、伝統文化や食べ物
サッカーなどのスポーツや遊び
日本の学校

< 避けたほうがよい話題・送付物 >

宗教、政治、信条に関すること
恋愛に関すること
ペット(特に犬)について
身体の露出度の高い写真

～ チャイルドの言葉（英語）で手紙を書いてみよう ～

初めてお便りします。

This is my first letter for you.

お元気ですか？

How are you doing ?

スポンサーになって、あなたの国に興味を持ちました。

**I have come to take interest in your country
since I became your sponsor.**

日本のどんなことが聞きたいですか？

What do you like to hear about Japan?

お誕生日おめでとう。

Happy Birthday to you.

新年のご挨拶を申し上げます。

Happy new year!

上記は、チャイルドの住む国の公用語です。

簡単な文例集をホームページでも紹介しております。送付ご希望の方はプラン・ジャパン事務局までご請求ください。